

中学生議会を開催！

市内の中学生12人が議会議員となり、市の執行部に一般質問を行う模擬議会を開催します。中学生の皆さんが、行政への疑問や思いを質問し、市政を熱く語ります。

中学生が議会体験を通じ、市（地方自治）の仕組みや市議会の役割を学習し、市政や市議会への関心を深め、まちづくりへの参加意欲を高めてもらうとともに、今後の学校教育や生徒会活動に役立ててもらうことを目的に行うものです。ぜひ、傍聴ください。

■日時 7月21日(木) 午後2時開始（予定）

■会場 市議会議事堂
(市役所谷和原庁舎3階)

■ご注意 傍聴席には限りがあります。傍聴席に入りきれない場合は、庁内の会議室などでモニター観覧になることをあらかじめご了承ください。



昨年度の中学生議会の様子

「全税共地域文化賞」 市網火保存連合会が受賞

市網火保存連合会（会長＝片庭正雄市長）が、地域文化の普及、振興に貢献した功績が認められ、財団法人全国税理士共栄会文化財団からの「全税共地域文化賞」を受賞しました。

この「全税共地域文化賞」は、芸能、伝統芸能および伝統工芸技術の各分野で、顕著な活動を行っている団体または個人に贈

られるもので、今回で第19回を迎えます。今回の受賞は、市網火保存連合会による網火の継承と発展が顕彰に値するとのことから受賞となりました。

4月27日に行われた贈呈式には、片庭市長、小張松下流網火保存会元大橋勘二氏、高岡流網火更進団团长渡辺和義氏ら関係者が出席し、表彰状、ブロン

ズ像、賞金、副賞が手渡されました。



表彰状、ブロンズ像などを贈呈された市網火保存連合会の皆さん

寄附をいただきました

5月20日には、小張松下流網火保存会、高岡流網火更進団の関係者らが市役所を訪れ、市の災害復旧に役立てて欲しいと、それぞれの団体から10万円、合計20万円が市に寄附されました。



義援金をお預かりしました

～日本赤十字社東日本大震災義援金～

日本赤十字社茨城県支部つくばみらい市地区では、東日本大震災の義援金の受付を行っており、多くの皆様から義援金をお預かりしています。

お預かりした義援金は、茨城県支部に送金し、各地区の被災者の方への生活支援、復興、見舞金に使われます。

皆様から寄せられた義援金の総額は、6月3日現在1045万2709円となりました。

【5月17日送金分】

132万1870円

【6月3日送金分】

98万79円

義援金の受付は、引き続き行っていますので、皆様のご協力をお待ちしています。

■受付場所

伊奈庁舎社会福祉課

谷和原庁舎会計課

■受付期間および時間

9月30日(金)までの土、

日、祝日を除く午前8時

30分～午後5時15分

※義援金は、郵便局窓口での振り込みでも受け付けています。

善意の寄附をいただきました



茨城近交運輸倉庫株式会社（林稔代表取締役）より、東日本大震災の災害復旧に役立てて欲しいと、100万円が市に寄附されました。

【茨城近交運輸倉庫株式会社より】



岡田文化協会会長から目録を寄贈される片庭市長

【市文化協会より】市文化協会に所属する各団体より、103万3000円の義援金をお預かりしました。